

(案)

京都市上下水道事業中期経営プラン(2023-2027)

令和6年度計画

上下水道局では、平成30年3月に策定した「京(みやこ)の水ビジョン -あすをつくる- (2018-2027)」に基づき、令和5年3月にビジョン後期5か年の実施計画である「中期経営プラン(2023-2027)」を策定しました。本計画はビジョン及びプランに掲げる事業を着実に推進するための単年度計画として策定するものです。

令和6年度は、引き続き、安全・安心な水道水の供給及び水環境の保全を図るため、管路・施設の改築更新・耐震化や計画的な維持管理、防災・危機管理の取組を着実に推進します。

また、業務執行体制の見直し及び効率的な事業運営等の経営基盤強化の取組により、財源となる積立金(利益)の確保に努めてまいります。



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルの澄都(すみと)くん

目次

1 令和6年度予算	P1
2 事業推進計画	P4
3 経営基盤強化計画	P15



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ひかりちゃん

ビジョン・プランを含む経営情報については、上下水道局ホームページを御覧ください。

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000292343.html>)

事業の概要や背景・課題などについても詳しく記載しています！



1 令和6年度予算

1 水道料金・下水道使用料収入

事業用の水量の増加により、水道料金・下水道使用料収入は令和5年度見込みと比べ微増の見通し

区分	令和6年度予算	対 令和5年度見込	対 令和6年度プラン
水道	293.1億円	+0.3億円	+2.8億円
下水道	229.5億円	+0.7億円	△0.3億円

2 建設改良等のための積立金(利益)

新型コロナや物価高騰の影響が継続する中であっても、効率的な事業運営に努めることなどにより、プランに掲げた目標額を確保できる見通し

区分	令和6年度予算	対 令和5年度見込	対 令和6年度プラン
水道	14.7億円	△6.9億円	+1.2億円
下水道	24.2億円	△3.9億円	+1.4億円

3 企業債残高の削減

建設改良事業を着実に推進しつつ、国の交付金等を最大限活用することで、企業債の発行を抑制し、プランに掲げた目標残高を達成できる見通し

区分	令和6年度予算	対 令和5年度見込	対 令和6年度プラン残高
水道	1,558億円	+7億円	△1億円
下水道	2,407億円	△48億円	△1億円

4 長期的な視点に立った事業の推進

市民の皆さまの生活を支える重要なライフラインである水道・下水道を守り続けるために、長期的な視点に立ち、着実に事業を推進

区分	令和6年度予算	用途
水道整備事業費	200.0億円	管路・施設の改築更新等
公共下水道整備事業費	190.0億円	管路・施設の更新、浸水対策等

5 業務量及び建設改良事業の内容

水道事業及び公共下水道事業の業務量と建設改良事業の予算規模及び内容は、次のとおりです。

水道事業特別会計

1 業務量

項 目		令和5年度当初予算	令和6年度予算	増△減	
年間給水量	(千㎡)	174,015	173,773	△242	△0.1%
1日最大給水量	(千㎡)	495	509	14	2.8%
年間有収水量	(千㎡)	159,695	159,764	69	0.0%
有収率	(%)	91.8	91.9	0.1	—
期末使用者数	(件)	802,500	808,800	6,300	0.8%

2 令和6年度建設改良事業(建設改良費:212.1億円(税込み)) (内訳は主な事業)



公共下水道事業特別会計

1 業務量

項 目		令和5年度当初予算	令和6年度予算	増△減	
人口普及率	(%)	99.5	99.5	0	—
年間流入下水量	(千㎡)	342,256	332,403	△9,853	△2.9%
年間有収汚水量	(千㎡)	172,580	172,105	△475	△0.3%
期末使用者数	(件)	790,300	797,000	6,700	0.8%

2 令和6年度建設改良事業(建設改良費:203.2億円(税込み)) (内訳は主な事業)

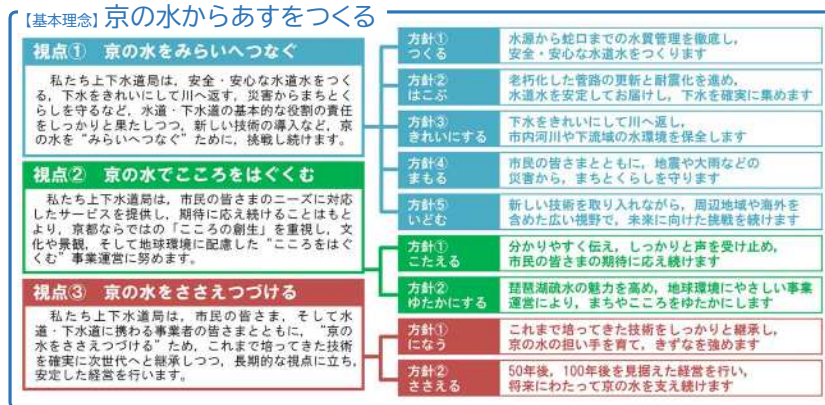


2 事業推進計画

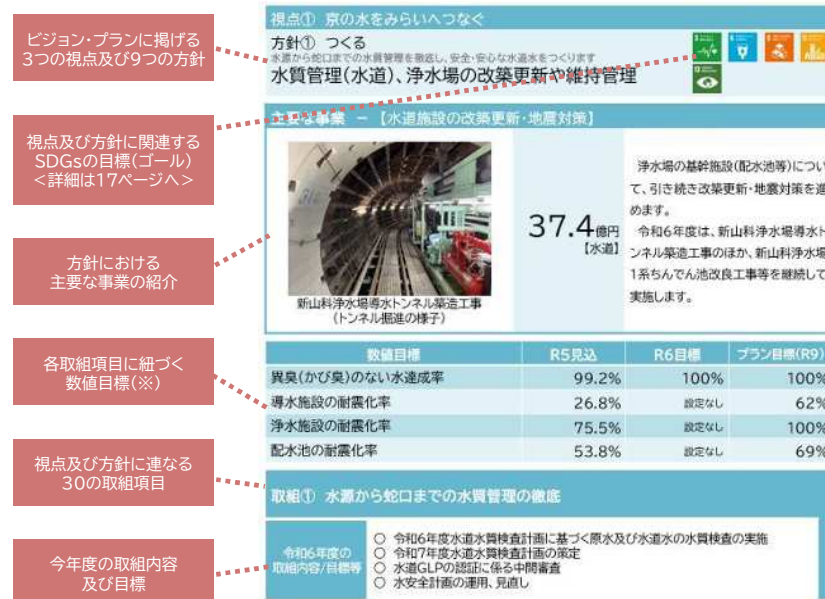
- 令和6年度に実施予定の主な事業の概要について、「京(みやこ)の水ビジョン -あすをつくる-」の構成に沿って御紹介します。

経営環境が厳しい中にあっても、市民・事業者の皆さまにとって重要なライフラインである水道・下水道を守り続けるため、長期的な視点に立ち、着実に事業を推進します。

【ビジョン及びプランの取組の構成】



【次ページからの各取組項目における計画の見方】



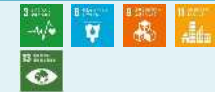
※ 当該年度中に事業が完了しないため数値が向上しない目標は、数値目標を「設定なし」としています。

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる

水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります

水質管理(水道)、浄水場の改築更新や維持管理



主要な事業 - 【水道施設の改築更新・地震対策】



新山科浄水場導水トンネル築造工事(トンネル掘進の様子)

37.4億円【水道】

浄水場の基幹施設(配水池等)について、引き続き改築更新・地震対策を進めます。

令和6年度は、新山科浄水場導水トンネル築造工事のほか、新山科浄水場1系ちんでん池改良工事等を継続して実施します。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
異臭(かび臭)のない水達成率	99.2%	100%	100%
導水施設の耐震化率	26.8%	設定なし	62%
浄水施設の耐震化率	75.5%	設定なし	100%
配水池の耐震化率	53.8%	設定なし	69%

取組① 水源から蛇口までの水質管理の徹底

令和6年度の取組内容/目標等	○ 令和6年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 ○ 令和7年度水道水質検査計画の策定 ○ 水道GLPの認証に係る中間審査 ○ 水安全計画の運用、見直し
----------------	---

取組② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進

令和6年度の実施内容/目標等	○ 高機能な粉末活性炭の注入 ○ 蹴上浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置工事実施(R4事業開始・R7運用開始予定) ○ 松ヶ崎浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備工事実施(R5事業開始・R8運用開始予定) ○ 処理プロセスの最適化、高度化に向けた検討 ○ 水道施設に関する基本情報や修理履歴等データベースの活用
----------------	--

取組③ 安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化

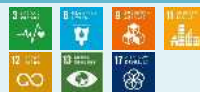
令和6年度の実施内容/目標等	○ 新山科浄水場導水トンネル築造工事実施(H29事業開始・R10運用開始予定) ○ 新山科浄水場1系浄水施設改良工事実施(R5事業開始・R7工完了予定) ○ 新山科浄水場低区1・2号配水池耐震化工事実施(R5事業開始・R7工完了予定)
----------------	---

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針② はこば

老朽化した管路の更新と耐震化を進め、水道水を安定してお届けし、下水を確実に集めます

水道・下水道管路の改築更新や維持管理



主要な事業 — 【水道管路の改築更新・地震対策】



配水管工事

142.0
億円
【水道】

老朽化した水道管路の更新を継続（55km）し、更新時には、耐震性・耐久性に優れる管材料を使用することで耐震化を図ります。

また、給水のバックアップ機能を強化するため、隣接する給水区域間をつなぐ連絡幹線配水管の布設を引き続き実施します。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
有収率	91.9%	91.9%	92.0%
老朽配水管の解消率	52.2%	57.1%	74%
主要管路の耐震適合性管の割合	60.3%	61.5%	66%

取組① 配水管等の適切な維持管理の推進

令和6年度の
実施内容/目標等

- 配水管の洗浄作業（「京（みやこ）の水道管おそうじプロジェクト」）の実施
- 漏水調査の実施

取組② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化

令和6年度の
実施内容/目標等

- 老朽化した配水管の更新・耐震化の実施 55km
- 低区御池連絡幹線配水管 布設工事実施（H26年度事業開始・R7年度工事完了予定）

取組③ 安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上

令和6年度の
実施内容/目標等

- 貯水槽水道の設置者への啓発・助言
- 直結式給水のPR
- 全指定給水装置工事事業者を対象とした研修の実施（3年に1回）
- 新規指定給水装置工事事業者を対象とした説明会の実施
- 指定給水装置工事事業者を対象とした更新制度の実施

主要な事業 — 【下水道管路の改築更新・地震対策】



下水道管路の更生工事

28.2
億円
【下水道】

更生工法（長寿命化）や布設替えにより、老朽化した下水道管路の計画的な更新と重要な下水道管路の耐震化を進めます。

令和6年度は、引き続き33kmの下水道管路について、改築更新・地震対策を進めます。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
下水道管路改築・地震対策率	31.5%	34.8%	44%

取組④ 下水道管路の適切な維持管理の推進

令和6年度の
実施内容/目標等

- 下水道管路の計画的な巡視や点検調査
- 腐食のおそれが大きい箇所点検調査 2.3km

取組⑤ 優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化

令和6年度の
実施内容/目標等

- 下水道管路の調査及び改築・地震対策の実施 33km
- ポンプ場遠方監視制御設備改築工事着手（R6年度事業開始・R8年度運用開始予定）

取組⑥ 適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨

令和6年度の
実施内容/目標等

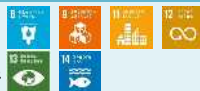
- 全戸訪問による水洗化勧奨の実施
- 工場・事業場への立入検査 年間1,200回以上

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針③ きれいにする

下水をきれいにして川へ返し、市内河川や下流域の水環境を保全します

水質管理(下水)、水環境保全センターの改築更新や維持管理



主要な事業 - 【下水処理施設の改築更新・地震対策】



鳥羽水環境保全センター汚泥焼却施設
(流動炉)

61.7 億円
【下水道】

水環境保全センターの主要な施設について、引き続き改築更新・地震対策を進めます。

令和6年度は、鳥羽水環境保全センター第2東ポンプ場ポンプ設備工事、流動炉延命化工事及び伏見水環境保全センター合流系最終ちんでん池設備工事等を継続して実施します。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
高度処理管理目標水質達成率	100%	100%	100%
処理施設の改築更新数(R5-R9)	年間10施設	年間11施設 (累計21施設)	累計31施設 (令和5-9年度)

取組① 下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上

令和6年度の実施内容/目標等	
- 点検整備計画に基づく施設の定期整備の実施 - 下水道施設に関する基本情報や修繕履歴等のデータベースの活用 - 水質管理計画の見直し・継続運用 - 効果的・効率的な運転管理に関する調査・研究の実施	

取組② 水環境保全センター施設の再構築

令和6年度の実施内容/目標等	
- 鳥羽水環境保全センター汚泥焼却炉改築工事実施(R5年度事業開始・R9年度運転開始予定) - 鳥羽水環境保全センター沈砂池改築工事着手(R6年度事業開始・R11年度運用開始予定) - 鳥羽水環境保全センター吉祥院支所の貯留水を鳥羽水環境保全センターへ送水開始	

取組③ 健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善

令和6年度の実施内容/目標等	
合流式下水道改善対策施設の継続運用	

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針④ まもる

市民の皆さまとともに、自身や大雨などの災害から、まちとくらしを守ります

防災・減災対策(公助・共助・自助)や浸水対策



主要な事業 - 【浸水対策の推進】



鳥羽第3導水きょ

61.0 億円
【下水道】

「雨に強いまちづくり」を推進し、大雨の時に雨水を取り込む雨水幹線等の整備を引き続き進めます。

令和6年度は、浸水に対する安全度を更に向上させるため、鳥羽第3導水きょや烏丸丸太町幹線等の整備を継続して実施します。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
飲料水の備蓄率	55.6%	62.4%	65%
雨水整備率(10年確率降雨対応)	33.1%	34.8%	40%

取組① 「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化

令和6年度の実施内容/目標等	
- 各種計画、マニュアル及びBCPの運用、点検及び見直し - 災害を想定した実践的なマニュアル運用訓練及び研修の実施 - 大都市や京都府内の自治体、民間事業者との防災訓練、情報交換の実施 - ICTを活用した防災・危機管理情報発信の開始 - 仮設給水槽の増台 15基(R6年度末:58基) - 防災拠点等への仮設給水槽の配備、運用 - 災害用マンホールトイレの継続的な整備 18か所(R6年度末:203か所)	

取組② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化

令和6年度の実施内容/目標等	
- 災害用備蓄飲料水の積極的かつ効果的な啓発活動 - 自助に関する情報発信の充実及び強化 - 各区役所・支所と連携した自主防災組織への防災研修の実施 - 各行政区、学区、地域等が主催する防災訓練への参加 - 共助に関する情報発信の充実及び強化	

取組③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進

令和6年度の実施内容/目標等	
- 鳥羽第3導水きょ工事実施(R2年度事業開始・R9年度運用開始予定) - 烏丸丸太町幹線工事実施(R2年度事業開始・R7年度運用開始予定) - 伏見水環境保全センター雨水滞水池工事実施(R2年度事業開始・R6年度運用開始予定) - 雨水貯留施設及び雨水浸透ますの普及促進 - 関係局区が連携した雨に強いまちづくりの取組の推進	

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針⑤ いどむ

新しい技術を取り入れながら、周辺地域や海外を含めた広い視野で、未来に向けた挑戦を続けます

新技術の調査・研究、広域化・広域連携等



主要な事業 — 【未来の上下水道事業につながる調査・研究の実施】



高画質カメラ活用したデータ蓄積

下水汚泥の減量化技術

44百万円
【下水道】

下水道管の改築更新の推進を図るため、高画質カメラを活用した管内調査の効率的なデータ蓄積手法について調査研究を実施します。

また、下水汚泥の減量化技術に係る調査研究を進めます。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
新技術の調査研究件数(R5-R9)	年間49件	年間30件 (累計79件)	累計150件 (令和5-9年度)

取組① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 新技術の調査・研究の実施 ○ 外部機関との共同研究の局ホームページによる募集、実施 ○ 各研究発表会(全国水道研究発表会、全国下水道研究発表会等)や論文掲載等での研究成果の発信
--------------------	--

取組② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 「京都水道グランドデザイン」等関連計画に基づく広域化の在り方の検討 ○ 広域連携の取組の推進(共同研修、水質検査の受託、資機材の相互融通に向けた検討) ○ 大都市や京都府内の自治体、民間事業者との防災訓練、情報交換の実施【視点①-方針④-取組①再掲】 ○ 上弓削農業集落排水事業の公共下水道事業への統合、維持管理開始 ○ 琵琶湖・淀川流域都市間の協議会等への参画
--------------------	---

取組③ 国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成

令和6年度の 実施内容/目標等	○ JICA等を通じた海外からの研修・視察等の受入れ ○ 他都市との情報交換等の実施 ○ 職員の知識・技術力の向上(JICA能力強化研修等への受講機会の設定等)
--------------------	--

視点② 京の水でところをはぐくむ

方針① こたえる

分かりやすく伝え、しっかりと声を受け止め、市民の皆さまの期待にこたえ続けます

お客さまサービス、広報・広聴活動



主要な事業 — 【戦略的な広報活動(事業への理解促進、水需要喚起の広報活動)】

鳥羽の藤

蹴上のつつじ

マスコットキャラクター「すみと・ひかり」



35百万円
【水道・下水道】

5年ぶりに開催する鳥羽水環境保全センター(藤の花)・蹴上浄水場(つつじ)の一般公開事業を皮切りに、水道・下水道に親しむイベントをマスコットキャラクター「すみと・ひかり」を活用して実施します。

また、ホームページやSNS、印刷物など、多様な媒体を活用したクロスメディア広報を通じ、ライフラインとしての水道・下水道事業への理解促進や水需要の喚起を図ります。

このうち6百万円は、寄附金等を財源として活用します(一般公開事業に充当)。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
サービスの利用全般に対するお客さま満足度	50.8%	70%以上	70%以上を維持
インターネットを活用したサービスの利用件数	年間46,000件	年間40,000件 (累計約22万件)	累計25万件 (平成30～令和9年度)
広報活動・媒体の認知度	20.1%	35.0%	50%

取組① お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 大口使用者利用状況調査による新たなサービスに関するニーズの調査、地下水等利用専用水道使用者への訪問・ヒアリング ○ お客さま応対研修の実施・ご意見メール等への対応
--------------------	--

取組② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 手続きのオンライン化・ペーパーレスの調査・研究 ○ スマホアプリの構築・運用開始 ○ 新たなお客さまサービスの調査・研究 ○ 水道スマートメーターに関する調査・研究	スマホアプリについて 詳細は17ページへ
--------------------	---	---------------------------------

取組③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 上下水道事業への理解促進につながるイベント等の実施、広報紙の各戸配布 ○ 水需要喚起を図る広報活動 ○ クロスメディア広報の展開 ○ オンラインを活用した上下水道モニター制度等の実施
--------------------	--

視点② 京の水でここをはぐくむ

方針② ゆたかにする

琵琶湖疏水の魅力を高め、地球環境にやさしい事業運営により、まちやこころをゆたかにします

文化や景観、地球環境に配慮した事業運営



主要な事業 — 【琵琶湖疏水の魅力発信(びわ湖疏水船、日本遺産・文化観光推進法関連事業)】



びわ湖疏水船の航路延伸事業



琵琶湖疏水記念館エントランス新設(イメージ)

1.2 億円
【水道】

この1.2億円は、国の補助金及び寄附金等を財源として活用します。

びわ湖疏水船事業(実施主体:琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会)について、琵琶湖・大津港への航路延伸を実現させ、日本遺産・琵琶湖疏水の更なる魅力発信を図ります。

また、琵琶湖疏水記念館において、通行者が多い南側にエントランスを新設し、来館いただきやすく、賑わいのある空間創出を図ります。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
琵琶湖疏水記念館来館者数	年間6.6万人	年間10万人 (累計309万人)	累計370万人 (平成元～令和9年度)
事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減率(H25比)	39.3%※	39%	39%
汚泥有効利用率	68.6%	70.2%	75%以上を維持

※令和5年度の温室効果ガス排出量の算出に係る排出係数が未確定のため、令和4年度の排出量削減率を参考値として掲載

取組① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 疏水路の維持管理・整備 ○ びわ湖疏水船航路延伸PR推進 ○ びわ湖疏水船スタッフの育成等の運営支援及び親子乗船会等 ○ 琵琶湖疏水関連施設の魅力向上策及び整備推進等 ○ 琵琶湖疏水記念館における賑わい創出に向けた整備
--------------------	---

取組② 創エネルギー・省エネルギーによる脱炭素社会の実現への貢献

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 省エネ・高効率機器の採用、照明のLED化による使用電力の削減 ○ 太陽光発電等の創エネルギーの取組の継続的運用 ○ 鳥羽水環境保全センター汚泥焼却炉改築工事実施【視点①-方針③-取組②再掲】 ○ 環境マネジメントシステムの継続的運用 ○ 環境報告書の発行
--------------------	---

取組③ 地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 固形燃料及び消化ガスの有効活用 ○ 焼却灰等の有効利用 ○ 鳥羽水環境保全センター汚泥焼却炉改築工事実施【視点①-方針③-取組②再掲】
--------------------	---

視点③ 京の水をささえつづける

方針① になう

これまで培ってきた技術をしっかりと継承し、京の水の担い手を育て、きずなを強めます

職員の育成、市民・事業者の皆さまとの連携



主要な事業 — 【技術力の向上・技術継承の推進とチャレンジ精神あふれる職員の育成】



採用6年目以降の職員を対象とした
中堅技術研修の様子

29 百万円
【水道・下水道】

中堅・若手職員を対象とした体系的な技術研修の計画的な実施や、体験型研修施設等の効果的な活用とともに、資格取得支援制度等を利用促進することにより、技術系資格保持者を増加させ、職員の技術力の向上・技術継承を推進します。

また、災害やデジタル化といった多様な事業課題に対応した研修の実施や若手職員が交流する機会の創出により、チャレンジ精神にあふれる職員を育成します。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
技術系資格保持者の割合	42.0%	44.0%	50%

取組① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 中堅・若手職員に向けた体系的な技術研修の実施(年間延べ受講者数500人) ○ e-ラーニングの効果的な活用(技術研修受講者への確認テストの平均点90点) ○ 災害対応力やデジタル力向上に資する実践的な研修、資格取得支援制度の拡充 ○ 若手職員の活発な交流機会の創出 ○ コンプライアンス研修の実施 ○ 採用活動の充実化 ○ OJTを強化する取組や人事交流の推進 ○ 働き方改革の推進
--------------------	--

取組② 京の水をともに支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携

令和6年度の 実施内容/目標等	○ 水道・下水道のご利用等に係る情報発信 ○ 市民・事業者による水道技術研修施設の利用 ○ オープンデータの取組の推進 ○ 公契約基本条例に基づく取組の推進 ○ 緊急対応業務等の一般財団法人京都市上下水道サービス協会への委託(継続) ○ 上下水道サービス協会との災害時協定書に基づく取組の実施
--------------------	---

視点③ 京の水をささえつづける

方針② ささえる

50年後、100年後を見据えた経営を行い、将来にわたって京の水を支え続けます

事業の効率化など、長期的な視点に立った経営



主要な事業 — 【保有資産の有効活用】



元南部配水管理課用地
(令和6年度に売却を予定)

収入 **12.3** 億円
【水道・下水道】

財務体質の更なる強化に向けて、保有資産の有効活用を進めます。

令和6年度は、引き続き、山ノ内浄水場跡地や総合庁舎内の資産活用スペース等の貸付を実施します。

また、本市が「脱炭素先行地域」に選定されたことを受け、隣接する伏見工業高等学校跡地とともに元南部配水管理課用地の売却等を実施します。

数値目標	R5見込	R6目標	プラン目標(R9)
下水道の大規模更新に備えた積立金の残高	70.2億円	94.4億円	160億円
企業債残高	4,006億円	3,965億円	3,800億円

取組① 施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減

令和6年度の
実施内容/目標等

- 管路及び施設等に関する情報のデジタル化の推進
- 管路の事業量・事業費の更なる平準化に向けた調査・検討
- 優先順位を踏まえた建設事業計画の作成・実施
- 庁舎長期修繕計画に基づく修繕の実施
- 工事検査の手法改善の継続実施

取組② 業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化

令和6年度の
実施内容/目標等

- 第7期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編、職員定数の削減(△19人)
- 民間活力の導入の推進(水環境保全センター保守点検業務(鳥羽)の一部委託化)
- デジタル技術を活用した業務の効率化
- 新技術の導入に向けた調査・研究
- 業務システム用サーバ仮想化の実施

取組③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化

令和6年度の
実施内容/目標等

- 資産維持費の活用等による企業債の発行抑制及びこれによる支払利息の削減
- 下水道大規模更新等に備えた積立金の確保
- 一般会計からの繰入金(出資金)の休止
- 保有資産の有効活用の検討及び売却・貸付の推進
- 上下水道局旧本庁舎跡地の暫定活用
- 新たな収入源の検討

取組④ 継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討

令和6年度の
実施内容/目標等

- 単年度事業計画の策定・実践及び進捗管理
- 経営審議委員会等の意見を踏まえた経営評価制度の充実及び実施
- 経営状況に係る情報発信
- 水道施設維持負担金制度の適切な運用
- 将来を見据えた適正な水道料金・下水道使用料の在り方の検討

3 経営基盤強化計画

- 老朽化した管路や施設の改築更新・地震対策、大雨からまちやくらしを守る浸水対策など、市民の安全・安心につながる取組を着実に進めるためには、事業の財源となる建設改良積立金(利益)をしっかりと確保する必要があります。そのため、業務の執行体制の見直しや効率的な事業運営に努めることで、経費削減の取組を推進しています。

令和6年度の主な取組の内容は以下のとおりです。各取組を着実に進めるほか、あらゆる業務について再点検と見直しを実施することで、経費削減に努めます。

(ページ下段のグラフ参照)。

【令和6年度の主な取組】

業務執行体制の効率化 人件費の削減	・ 民間活力の導入(水環境保全センターの保守点検業務)、業務執行体制の見直し等による職員数の削減(△19人)
効率的な事業運営 物件費の削減	・ 水道配水管更新による漏水修繕経費の削減 ・ 温室効果ガス排出量の削減にも寄与する下水汚泥から生成する消化ガスの利用による都市ガス購入経費の削減 ※ これらのほか、あらゆる業務について再点検と見直しを実施
その他	・ 企業債借入方式の見直し(長期債から短期債への変更)等による支払利息の削減 ・ 保有資産の有効活用による賃料収入の確保(水道:4.3億円、下水道:0.9億円) ・ 下水道事業における投資規模の抑制による減価償却費等の削減

【令和6年度における人件費・物件費の削減】



注 グラフ中の数値は人件費・物件費の合算値であり、「実施前」は経費削減に係る取組(プランに掲げる経営基盤強化計画)を実施する前の見通しの値を、「実施後(予算)」は取組実施効果を考慮した予算値を示しています。

【参考①】令和6年度数値目標一覧

区分	指標名	R5見込	R6目標	プラン目標 (R9)
プラン全体	1 事業に対する総合満足度	70.7%	70%以上	70%以上を維持
①京の水をみらいへつなぐ	①水質	2 異臭(かび臭)のない水達成率	99.2%	100%
		3 導水施設の耐震化率※1	26.8%	62%
		4 浄水施設の耐震化率※1	75.5%	100%
		5 配水池の耐震化率※1	53.8%	69%
	②水圧	6 有収率	91.9%	92.0%
		7 老朽配水管の解消率	52.2%	74%
		8 主要管路の耐震適合性管の割合	60.3%	66%
		9 下水道管路改築・地震対策率	31.5%	44%
	③処理施設	10 高度処理管理目標水質達成率	100%	100%
		11 処理施設の改築更新数	年間10施設 年間11施設 (累計21施設)	累計31施設 (令和5-9年度)
	④水資源	12 飲料水の備蓄率	55.6%	62.4%
		13 雨水整備率(10年確率降雨対応)	33.1%	40%
	⑤いどむ	14 新技術等の調査研究数	年間49件	年間30件 (累計79件)
②京の水で「くらし」を豊かにする	①くらし	15 サービスの利用全般に対するお客さま満足度	50.8%	70%以上
		16 インターネットを活用したサービスの利用件数	年間46,000件	年間40,000件 (累計約22万件)
		17 広報活動・媒体の認知度	20.1%	35.0%
	②くらしを豊かにする	18 琵琶湖疏水記念館来館者数	年間6.6万人	年間10万人 (累計309万人)
		19 事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減率(2013(平成25)年度比)	39.3%※2	39%
		20 汚泥有効利用率	68.6%	70.2%
③SDGs未来都市京都	①になう	21 技術系資格保持者の割合	42.0%	44.0%
		22 下水道の大規模更新に備えた積立金の残高	70.2億円	94.4億円
	②チャレンジ	23 企業債残高	4,006億円	3,965億円

※1 当該年度中に事業が完了しないため数値が向上しない目標は、令和6年度の目標設定なし

※2 令和5年度の温室効果ガス排出量の算出に係る排出係数が未確定のため、令和4年度の排出量削減率を参考値として掲載

【参考②】

スマホアプリでさらに便利に！！【視点②－方針①－取組②】

1 導入の目的・効果

これまで上下水道局では、お客さまの利便性向上のため、スマートフォン決済サービスやWeb口座振替受付サービスを開始するなど、インターネットを活用したサービスを導入してきました。令和6年度中のリリースに向け開発中のスマホアプリでは、これまで個々に認証・登録が必要であった使用水量・料金照会や水道の使用開始等の各種申込がアプリ1つで利用可能となります。また、スマホへ直接通知できるメッセージ機能「プッシュ通知機能」の活用や新たな決済サービスを提供することで、更なるお客さまの利便性向上とペーパーレスを推進します。

2 主な機能

① **使用水量・料金照会**
過去2年分の履歴確認(インボイス対応)

② **通知・お知らせ** **new**
検針情報や支払い忘れ通知

③ **各種申込**
開閉栓・口座振替払い・クレジットカード継続払い

④ **決済連携** **new**
アプリ上でのキャッシュレス決済(納付書のペーパーレス化)

【参考③】

上下水道局はSDGsを推進しています

SDGs(エスディーゼーズ)は、「誰一人取り残さない」を合言葉に、人権、格差是正、教育、環境、平和など、持続可能な社会の実現を国際社会全体で目指す17の普遍的なゴール(目標)と、169のターゲット(達成基準)であり、実現に向けて各国政府だけでなく、地方公共団体や企業等の主体的な取組が求められています。

SDGsの理念や方向性等については、ビジョン及びプラン等と共通するものであり、上下水道局は、ビジョン及びプランのもと、SDGsの達成に向けた取組を推進しています。

関連するSDGsの目標(ゴール)